

情報化研究会会員選

五十音順・票は会員からの得票数

秋雨や耳をすまして鈴の音 4票

山本 史

秋夕焼米寿の母に笑顔満つ 3票

松田 次博

白菊のはずゑは露のやどりかな 2票

作者非公開

てんぷらの目の前広がるうるこ雲 2票

作者非公開

本開き片手にワイン星月夜 5票

松田 次博

やせ秋刀魚申し訳なく皿にのり 4票

松田 次博

杉山望先生選（五十音順）

秋の夜月に魅せられ心羽ばたく

寺嶋一郎

↓ 魅せられて心羽ばたく良夜かな

☆心羽ばたくなんて、すてきな表現ですね。いつ  
ぺんに気に入りました。「月」といえば、秋の季  
語ですから、「秋の」はいりません。  
月は夜ですから、「夜」もいりません。たった十  
七文字ですから、省ける言葉は省きましょう。  
ちなみに、朧月（春）、月涼し（夏）凍月（冬）

秋夕焼米寿の母に笑顔満つ

松田 次博

↓ …のよき笑顔

☆米寿になっても、満面の笑顔のお母さまって  
いいですね。笑顔を  
みているだけで、みんなが幸せのお福分けをいた  
だけそうです。卒寿、白寿と、年齢を重ねてま  
ます笑顔をみせてほしいものです。すぐに沈んで  
しまうかもしれないけれど、命を惜しまず今の刹  
那を命を惜しまずに輝いている秋夕焼にお母上の  
生き様を重ねているのかもしれない。

本開き片手にワイン星月夜

松田 次博

↓星月夜ワイン片手に本を読み

☆満天に星がきらめいている星月夜。それだけでロマンチックなのに、ワインを片手に本を読んでいるなんて、大人ですね！俳句を作って落ち着かないときは、上五と下五の語順を入れ替えてみるのも、手法のひとつです。

やせ秋刀魚申し訳なく皿にのり

松田 次博

☆ やせっぽちの秋刀魚が、申し訳なきそうに皿にのっているのですね。物の値段がいつの間にか上がって、暮らしにくい世の中になってきました。潮流が変わったせいか、追い打ちをかけるように、漁場から秋刀魚が消えてしまったのです。諧謔味のある句です。